

## 防災訓練（要素訓練）の結果の概要（案）

### 1. 訓練の目的

原子力規制庁と事業者において、事故時におけるプラント情報を迅速かつ正確に共有できることを確認することを目的とする。具体的にはE R Cとの情報共有の改善のためにC O P（共通運用図）の手書き更新による最新化を運用するとともに、新たにマニュアルに定めた説明の優先順位に基づき説明を実施することでE R C説明の対応が適切に行えることを確認する。

### 2. 実施日および訓練対象

#### (1) 実施日

2019年4月25日（木）

#### (2) 訓練対象

本店対策本部（若狭）

### 3. 実施体制、評価体制および参加人数

#### (1) 実施体制

訓練の実施責任者を設け、実施担当者が訓練を行う。

詳細は、「添付資料」のとおり。

#### (2) 評価体制

事故時におけるプラント情報を迅速かつ正確に共有されたかを実施責任者が評価する。

また、訓練を通じて改善事項の抽出がなかったかを確認する。

#### (3) 参加人数

「添付資料」のとおり。

### 4. 原子力災害想定の概要

高浜および大飯発電所で地震、全交流電源喪失および1次冷却材喪失等の発生を想定。

### 5. 防災訓練の項目

要素訓練

### 6. 防災訓練の内容

本部運営訓練（原子力規制庁対応）

### 7. 訓練結果の概要（「添付資料」参照）

2018年12月訓練と同一のシナリオにおいて、過去訓練の改善策であるC O Pの手書き更新運用、優先順位に基づく説明運用、S F P状況シートの新規運用を実施し、原子力規制庁E R Cと情報共有を実施することができた。

8. 訓練の評価（「添付資料」参照）

各対策の実施により、最新化されたCOP、SFP状況シート等を用いた説明が実施できた。また、情報の優先順位に基づき適時カットインして発話することより、複数のサイトのプラント情報等について、遅滞なく報告することができた。

以上よりERCとの情報共有において改善の有効性が確認できた。

9. 今後の原子力災害対策に向けた改善点（「添付資料」参照）

課題：発災時の対応として、遅滞なくERCと情報共有できたものの、「号機」などの発話の基本動作に一部漏れがあった。

原因：基本動作については説明マニュアルに留意事項等として記載しているものの、今回の訓練で説明者を交代したこともあり、マニュアルの記載だけでは、具体的な事例が分かりにくいものとなっていた。

対策：ERC説明の「良好事例／改善事例集」を作成し、ERC説明者等への教育を行うことで基本動作の定着を図る。

以上

〈添付資料〉

要素訓練の概要

## 要素訓練の概要

## 1. 本部運営訓練（原子力規制庁対応）（訓練実施日：2019年4月25日）、参加人数：21名）

概要	実施体制 (①実施責任者、 ②実施担当者)	評価結果	抽出された改善点	今後の原子力災害対策 に向けた改善点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ERC説明時のCOP最新化管理について確認を行い、COP手書き更新、COP発行頻度の充実により、最新の情報をCOPを用いて説明していることを確認できた。</li> <li>・SFP状況報告の遅れ改善対策として、SFP状況シートを活用したことにより、速やかにデータを入力し、ERCへ報告できていることを確認した。</li> <li>・情報の優先順位に基づき適時カットインして発話することより、遅延なくプラント情報等についてERCへ報告できていることを確認した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①危機管理グループ チーフマネジャー</li> <li>②即応センター対応 チーム要員</li> </ul>	良	<p>発災時の対応として、遅滞なくERCと情報共有できたものの、「号機」などの発話の基本動作に一部漏れがあった。</p> <p>これは、基本動作については説明マニュアルに留意事項等として記載しているものの、今回の訓練で説明者を交代したこともあり、マニュアルの記載だけでは、具体的な事例が分かりにくいものとなっていた。</p>	<p>ERC説明の「良好事例／改善事例集」を作成し、ERC説明者等への教育を行うことで基本動作の定着を図る。</p>